

【推薦の状況】 ※法人等の推薦による農業委員候補者の分類記号……農団																		
整理 番号	被推薦者（推薦を受ける者）									推薦者（推薦をする者）							被推薦者の農地の利用集積・集約化や遊休農地の発生防止・新規参入の促進などについての考え方	
	氏名	性別	年齢 (才)	職業	経歴		農業経営の状況			認定農業者等であるか否かの別	(法人・団体)							
					年月日	農業に関する経歴等	営農年数	営農類型	耕作面積 (a)		法人（団体）の名称	法人（団体）の代表者等	活動の主たる目的	構成員の数 (人)	構成員の資格・要件	農地利用最適化推進委員への推薦の有無		推薦の理由
農団 1	ハシモト スエヒロ 橋本 末弘	男	73	農業	令和3年4月～【在職中】 令和3年5月～【在職中】 令和6年4月～【在職中】 令和6年7月～【在職中】	神野町東神野農業団体長 株式会社ファームかんの東神野支店長 神野町神野水利組合長 加古川市農業委員会委員	30	水稻	自作地 84 借地 134	認定農業者である法人の業務執行役員または重要な使用人（農場長等）	加古川市農業団体連合会 神野町	地区代表 石見 豊文	神野町の農家の生産性向上・神野町の農業団体の連絡・調整	444	神野町の各地区の農業団体に所属する農業者	無	神野中部土地改良区の設立当初から営農担当としてかかわってきた。（株）ファームかんのの設立時にも役員（東神野）として、推進してきた。 以来ずっと地区の役員をしている。	東神野地区において、現在担い手（（株）ファームかんの）への集積・集約化率は約70％である。残りの圃場は家の周りの小さな田で、大型機械が入りにくい所ばかりである。しかし高齢化が進み、個人で管理できない圃場が増えつつある。そのような圃場を荒れないようにいかに管理していくのか営農・（株）ファームかんので話し合っていきたい。
農団 2	シノハラ タケミ 篠原 武己	男	70	団体職員	昭和53年4月～令和3年3月 令和4年2月～【在職中】 令和3年4月～【在職中】 令和5年4月～【在職中】	兵庫南農業協同組合職員 株式会社八幡営農監事 公益社団法人ひょうご農林機構非常勤職員 下村ため池協議会会長	48	水稻 露地野菜	自作地 23 借地 0	認定農業者である法人の業務執行役員または重要な使用人（農場長等）	加古川市農業団体連合会 八幡町	地区代表 馬田 一成	八幡町の農家の生産性向上、八幡町の農業団体の連絡・調整	591	八幡町の各地区の農業団体に所属する農業者	無	この度、推薦いたします篠原武己氏は、JA兵庫南に勤務、八幡営農の監事、下村の町内会長、多面的機能協議会の会長職等を経験されて、農地環境の維持、保全に取り組んで来られました。 八幡町内の農地全般に精通されておりますので、氏の経験を活かし農業委員をやってもらうことは、地元のみならず農業委員会の発展に寄与されるものと確信いたします。	町内会長と多面的機能協議会の会長を兼務し、農地の維持管理・保全に取り組んできた。地域での農業従事者の高齢化や農業者の減少する中、多面的機能交付金を利用し、荒廃農地の発生を防止しつつ、「農地バンク」を利用し、担い手への農地の集積・集約化を働きかけてきた。 農家の利用意向調査をもとに、農業の将来のあり方や農地利用の姿を描いた「地域計画」も、完成ではないので、今後も積極的な話し合いを通じて継続的に見直しを行い、担い手への更なる農地の集積・集約化が図れると思う。また、農地借入れ意向のある参入希望者を把握し、必要に応じ相談会を開催する等、支援を行っていく。 最後に、地域で作成された「地域計画」の目標を達成するための役割を担っていきたいと考える。
農団 3	マエダ ショウドウ 前田 祥道	男	70	農業	平成31年4月～令和7年3月 令和2年3月～令和4年4月 令和2年7月～【在職中】 令和4年4月～【在職中】 令和6年2月～【在職中】	八幡町上西条農業団体長 農事組合法人八幡営農組合理事 加古川市農業委員会委員 株式会社八幡営農取締役 株式会社八幡営農代表取締役	43	水稻 露地野菜 果実	自作地 153 借地 0	認定農業者である法人の業務執行役員または重要な使用人（農場長等）	加古川市農業団体連合会 八幡町	地区代表 馬田 一成	八幡町の農家の生産性向上、八幡町の農業団体の連絡・調整	591	八幡町の各地区の農業団体に所属する農業者	無	この度、推薦いたします前田祥道氏は農業委員2期目を農地委員長として活躍されております。 地元では、担い手である（株）八幡営農の代表として農地の集積や営農に注力されております。（認定農業者） その中で不耕起栽培等ドローンを活用したスマート農法の推進にも積極的に将来の農業のあり方を研究され地域のリーダーとして信頼されております。 氏の経験を活かし引き続き農業委員をやってもらうことは、地元のみならず農業委員会の発展に寄与されるものと確信いたします。	1. 遊休農地の発生防止には、問題を抱える地権者の事情を把握し、実行可能な対策を提案します。特に、指導文書をも無視する無責任な地権者や、不良荒廃農地の地権者など、根深い問題に対して、知恵を出して解決に取り組みます。 2. 農地利用の集積化集約化には、八幡営農の経験を活かして、農家と中間管理機構との橋渡しを行い、集積・集約率向上に取り組めます。 3. 新規参入には、野菜栽培で活動を開始した新規農家を現在支援中であり、また、稲作面積の拡大を望む新規担い手に対しても八幡営農の経験を活かし、助言・協力しています。 以上、農業実務力・情報収集力・農業委員の経験を活かし、委員会に貢献する所存です。

【推薦の状況】 ※法人等の推薦による農業委員候補者の分類記号……農団																			
整理 番号	被推薦者（推薦を受ける者）										推薦者（推薦をする者）							被推薦者の農地の利用集積・集約化や遊休農地の発生防止・新規参入の促進などについての考え方	
	氏名	性別	年齢 (才)	職業	経歴		農業経営の状況			認定農業者等であるか否かの別	(法人・団体)								
					年月日	農業に関する経歴等	営農年数	営農類型	耕作面積 (a)		法人（団体）の名称	法人（団体）の代表者等	活動の主たる目的	構成員の数 (人)	構成員の資格・要件	農地利用最適化推進委員への推薦の有無	推薦の理由		
農団 4	マエカワ ユミ 前川 裕美	女	43	農業	平成13年 3 月	兵庫県立農業高等学校卒業	10	果実 花き・植木 養蜂	自作地 0 借地 0	否	加古川市農業団体連合会 上荘町	地区代表 堀本 孝	上荘町の農業団体の連絡・調整	10	上荘町の各地区の農業団体に所属する農業者	無	本人は県立農業高等学校生活科を卒業後、現在は農業（養蜂）を行っている。 地域においても農道の草刈等、町内の農事関連の行事には積極的に参加し、若い者の見本となっている。 農業に対する関心が強く、若い女性目線で今後の農業問題に取り組んでもらいたい。	養蜂や無農薬栽培、地域の草刈活動を通じ、農地は日常的な管理が重要で遊休農地の発生防止が大切だと感じています。管理負担を抑えながら、活用する為、出来るだけ栽培管理が容易で地域に役立つ作物を導入。 新規就農希望者については、現就農者の意向を尊重し、小規模・段階的な農地利用、既存就農者とのマッチングを行い担い手への集積・集約化につながる活動を進めていきたい。 無農薬栽培や現在学んでいる薬膳の視点を活かし、女性にも農業に関わりやすい環境づくりに貢献していきたいです。	
農団 5	オギウチ ヒロシ 荻内 敬之	男	56	会社員	平成27年 4 月～令和 6 年 3 月 令和 5 年 4 月～【在職中】 令和 7 年 4 月～【在職中】	上荘町都染農業団体役員 都染営農組合会計 上荘町都染農業団体会長	35	水稻	自作地 42 借地 0	認定農業者に準ずるもの	都染町内会	会長 吉岡 康男	町内会維持・運営	300	町内に居住し協議費を支払う事、都染町内の農家の生産性向上	無	都染町内会及び農事部にて日夜、積極的に活動し農業団体長として責任有る行動を行っている。	営農組合による草刈や防除作業により、農作業の負荷や夏場の熱中症リスク低下を行う。 水路などの共有地の草刈については機械（トラクター）によって実施することで、作業負荷低下や時間短縮を行う。	
農団 6	ナガイ ヨシヒロ 長井 義弘	男	74	農業	平成27年 4 月～【在職中】 令和 5 年 7 月～【在職中】	東神吉町天下原農業団体会長 加古川市農業委員会委員	53	露地野菜	自作地 6 借地 0	否	加古川市農業団体連合会 東神吉町	地区代表 坂井 剛	東神吉地区農家の生産性向上、東神吉地区の農業団体の連絡・調整	503	東神吉町各地区の農業団体に所属する農業者	無	加古川市農業団体連合会東神吉地区として推薦する長井氏は、平成27年より天下原農業団体会長として、各農家との連絡・調整に取り組んで来られています。地域の農業用水である、神吉大池、新池、馬の頭池などの保全（草刈）、管理に役員として活動されています。 令和 5 年より農業委員も 3 年経験されています。 令和 3 年まで数年、天下原コスモス祭り、イモ堀体験で率先して行動されました。長井氏は昨今の農業政策についても見識があり、地域の代表者として農業委員会の審議や遊休農地の発生防止などの業務を行う本市の農業委員にふさわしい人物として推薦いたします。	遊休農地、担い手不足等の問題が現在に至っており東神吉地区において特に休耕田が目立っており大変困惑している。 最小限、草刈等の自己保全の啓発に努めて頂けるよう農業委員、町内農業団体会長を通じ取り組みたいと思っている。昨年年末に東神吉地区農業団体会長との懇親会において「草刈のお願い」の用紙を作成して地区農業団体会長に回覧して頂く様に配布しました。 今後遊休農地の発生防止として家庭園芸にて作物を作って収穫の喜び楽しみ、達成感等が有る事を微力ではありますが啓発に努めたいと思っています。	
農団 7	ウノ タカシ 宇野 孝	男	75	農業	令和 5 年 7 月～【在職中】	加古川市農業委員会農地利用最適化推進委員	50	露地野菜	自作地 2 借地 0	否	加古川市農業団体連合会 別府町	地区代表 山口 高秀	別府町新野辺の農家の生産性向上、別府町の農業団体の連絡・調整	30	別府町の各地区の農業団体に所属する農業者	無	宇野孝氏は2023年より加古川市の農地利用最適化推進委員を行っており、農業委員関係の業務を問題なく遂行されている。 農業委員会関係の法律についての知識をさらに深めていただくことにより、農業委員としての業務を十分に行うことができると考える。	浜手地区、特に別府町地区においては住宅地に三方囲まれた農地が点在する状況の中で後継者難・農業機械の保有継続困難等が加わる現状下では農地利用の集積等は困難であり、遊休農地の増加や荒廃農地化の防止に軸足を置かざるを得ない。 休耕田の有効利用の一策である「貸し農園」の活性化については、休耕田所有者個人での活動ではなく、農協等を含めた地域での連携が必要と考える。	